

# 「多面的・多角的に考えること」

## を重点とした道徳科の授業づくり

### 第3学年 道徳科学習指導案

1 主題名「校風の継承」(内容項目：C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実)

2 教材名「巣立ちの歌が聞こえる」(出典「中学道徳3」光村図書)

#### 3 主題設定の理由

学校には独自の校風があり、先輩や保護者、地域の人々の努力により培われてきた校風を継承し、生徒自身がよりよい学校にしていこうとする姿勢をもつことが大切である。

これまでの学習においては、集団の一員としての自覚はあるものの、個性を生かしつつ、協力し合って集団生活の向上を目指すことに課題が見られた。

そのため、本教材において、卒業生の思いを聞いて交流することで、よりよい学校にするために大切なことを考え、中学校生活を充実させようとする態度を育てていきたい。

#### 4 本時のねらい

物語を読んだり、卒業生の思いを聞いたりすることを通して、よりよい学校にするために大切なことを考え、中学校生活を充実させていこうとする実践意欲を育てる。

#### 5 本授業のポイント

- ① 道徳的諸価値(価値理解、人間理解、他者理解)について確実に理解できるようにする。
- ② 卒業生の思いを聞いたり、ICTを活用して交流したりすることにより、自校の校風について、多面的・多角的に考えられるようにする。

#### 6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される生徒の発言	留意点や評価の観点 等
導 入	1 自分たちの学校のよさについて考える。 ○自分たちの学校の伝統は何でしょうか。 ・合唱に力を入れている ・挨拶がよい	・Forms の投票機能を活用し、自分が考える学校のよさについて投票する。
展 開	2 教材を読み、考えをもつ。 ○行動を起こす前と後で、気持ちはどう変化しましたか。 3 卒業生の思いを聞き、交流することにより、多面的・多角的に考える。 ○卒業生の思いを聞いてどんなことを考えましたか。 ・20年前の卒業生も、学校のよさについて同じことを思っていたことがわかった。 4 よりよい学校にするために大切なことは何か考える。 ○校風を受け継ぐために大切なことは何でしょうか。 ・考えて行動する。 ・周りとの協力する。	・Jamboard を用いて、行動の前後の主人公の気持ちの変化について考えをもつ。 ・卒業生の思いを紹介するとともに、Padlet を用いて交流することで、自校の校風について多面的・多角的に捉える。
終 末	5 教師の説話を聞く。 6 学習を振り返る。	・学校生活の具体的な過ごし方を想像し、実践意欲を高める。